

産学懇談会(第2回)開催報告

9月22日(金)、都立農業高校を会場として本年度2回目となる産学懇談会を開催しました。

本会会長西澤宏繁による開会挨拶、長谷克己ものづくり教育推進担当課長による東京都教育委員会挨拶に続き、都立農業高校一ノ瀬淳校長の会場校挨拶のあと、施設見学、懇談会へとプログラムは進みました。

衣食住に係る5つの学科をもつ教育活動の広さや深さなのか、広い校地の中に点在している専門教室・果樹園・野菜圃場・製茶工場などの施設の大きさや充実ぶりなのか、施設見学の時間が予定をオーバーしてしまいました。

懇談会では、校長先生の概要説明の後、都立農業高校の特色ある教育活動として、3人の先生から「教科間連携と地域連携の概要」「高大連携とプロジェクト活動」「教科間連携の取組」が紹介されました。



食 物 科

卒業と同時に「調理師免許」が取得できる学科です。

見学当日は社会人講師（調理師として働いている地域のプロ）から指導を受けていましたが、どの顔からも真剣さが伝わってきました。



緑地計画科



「緑は自らの手で作り出す」がテーマの学科です。卒業庭園の制作は、3年間の集大成のように、地に着いた落ち着きを感じました。



食品科学科

見学した授業は、三人一組でトマトケチャップを鍋で作るという実習でした。

この手づくり経験をした後に、製造機を使った食品製造実習に入るので、知識や技術を着実に身に付けられるようです。



外壁が緑色をした建物が校地の端にあります。これが製茶工場。学校の北西に雨久保農場があり、そこに茶畑があります。（この他にも、神代農場、本町農場と3か所に分場があります。）ここで出来たお茶は「JGAP 茶」として認証登録されています。（JGAP 認証とは、農業の持続性に向けた取組のことで、しっかりと管理されているという証のことです。）



都市園芸科



「野菜、果樹、草花を楽しく学ぶ」がテーマの学科ですが、服飾科の制作する衣装に合わせて、ブーケやフラワーデザインのデザインをするなど、服飾科との連携も進めています。



服飾科

「糸と針で世界をつくろう」をテーマの学科です。定められた条件のもとに各々の生徒がデザインし、制作された作品の紹介を受けました。生徒はデザインだけでなく、素材にこだわり布地を専門店に探しにいくなど積極的に学んでいる姿などの紹介もありました



高大連携



普段の授業で行っている滅菌や培養の技術を使った高大連携です。

ダイズ根圏から分離される放線菌を分離して、抗生物質などを産出する有用な株を同定する実験を、東京農工大学と早稲田大学と共同研究しています。

地域連携



校地の一角にケヤキやサクラの若木が大切に育てられていました。専門高校の特性を生かした地域との連携です。

- ① 国指定天然記念物「馬場大門のケヤキ並木保護・更新プロジェクト」
- ② 名勝小金井サクラ復活プロジェクト